

世帯と人口

2月1日現在・( )内対前月比

世帯	47,105	(+ 66)
人口	123,927人	(+106)
男	63,187人	(+ 53)
女	60,740人	(+ 53)

この数値は平成17年度国勢調査人口を基に異動人口を加算し集計したものです

# 広報えびな

編集・発行

海老名市役所 市長室

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎(046)231-2111 ㊟(046)233-9118

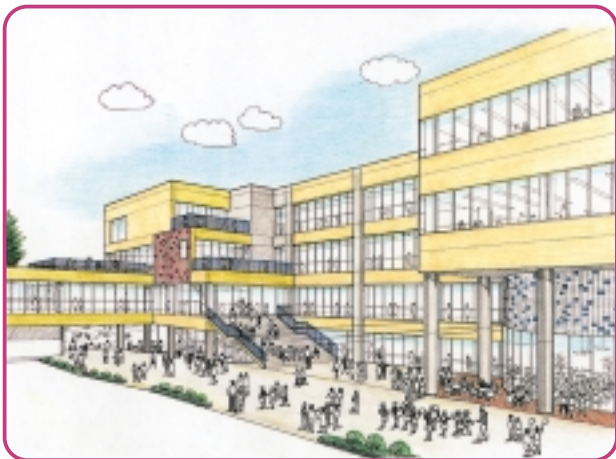
URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>



19年12月  
完成予定

## 地域でも有効利用できる施設へ

# 東柏ヶ谷小南棟 建て替えます



※5面に市内小中学校の耐震補強工事について掲載

●東側グラウンドから見た完成イメージ。校舎からグラウンドに通じる階段の上(=2階部分)に図書室を配置している。●は学校正門から見たイメージ。ガラス面を増やし、児童の安全をどこからでも確認しやすいデザイン。航空機騒音域のため、建物全体が防音仕様となっている\*イラストはイメージであり、実際の建物と異なる場合があります

東柏ヶ谷小学校南棟の建替工事が本格化します。新しい校舎は、次代を担う子どもたちにとってより良い学習環境を整えることとはもとより、時代の流れとともに変わっていく社会のニーズに、柔軟に対応できるような施設を目指しています。



グラウンドから見た現在の校舎。左側が建て替える南棟

### 耐震補強から 建て替えに変更

同校南棟は当初、平成16〜17年度に耐震補強工事を実施する予定でした。しかし、事前の調査で一部の柱のコンクリート強度が、施工に必要な数値を満たしていないことが分かり、工事を取りやめました。一方で、同校は敷地が狭いながらも、周辺の大規模住宅の建設が進行し、児童数の急増が予想されるため、早急な対応が求められていました。これらを踏まえて再度検討した結果、今回の建て替えとなったものです。

### プロポーザル方式採用で より質の高い設計を実現

設計業者の選定に当たっては、技術力や経験、建て替えに臨む体制を審査して決定していく「プロポーザル方式」を採用しました。この方式だと選定した設計者と発注者である市との共同作業で具体的な設計が進められるので、より質の高い設計が可能で

### 少人数授業に使用する教室 災害時も機能する給食施設

新しい校舎は、4階建て、延べ床面積は約4800平方メートルです。

- 設計に際しては、
- (1) 児童の安全・健康に配慮
  - (2) 多様化する学習内容に対応
  - (3) 地域へ開放・将来に対応できる
  - (4) 環境負荷の低減に配慮
- の4点に重点をおき、将来にわたって効率的に利用できる施設を目指しています。
- 特長的な整備内容は、障害のある子ども用の特別教室、多目的の利用や科目ごとの少人数授業に使用する教室、災害発生時に炊き出し場としても機能する給食室、地域に開放できる会議室などで、時代とともに変化していく社会のニーズに対応できる施設となっています。

● 教育総務課学校施設担当。